

神奈川ウォーキング参加 H26-04

第166回例会

関東ふれあいの道 NO. 2 油壺・入江のみち

2014 7 21

日時 : 平成26年7月21日 (月・海の日)

集合 : 京浜急行三崎口駅改札出口 9:45 出発: 10:00

コース: 【Aコース】(関東ふれあいの道) 約10,000歩

三崎口駅→<バス>→三崎港バス停→産地センターうらり→歌舞島公園→海外町の地層(スランプ構造)→漣痕(れんこん)地層見学→諸磯湾(ヨットのマストが水面影を落として揺らぐ)→油壺公園(ヨットレースでの遭難の碑)(海龍「特殊潜航艇」の船台と格納庫跡)→油壺湾バス停

【Bコース】

油壺湾バス停→油壺湾・駿潮所→新井城・空堀(三浦一族のお話)→三浦道寸のお墓→シーボニアヨットハーバー→小網代の森→三崎口駅 A+B=約17,000歩(伊藤自宅含め25,000歩)

参加者: 吉越L・神谷SL・中村SL

【1班】班長奈良・吉越・藤崎・吉野・平嶋・常盤・板垣・伊藤真・清水修・高木・賀上 11名

【2藩】班長熊島・勅使河原・神谷・戸田・高橋辰・平林・森山・鈴木徳・平石一・中川・市村 11名

【3班】班長河野・中村年・高橋文・小野里・青松秀・内田絵・内田成・福士・山本・志村 10名

【4半】班長熊坂・藤原・新谷・深瀬・山内・瀬戸・加来・落合・横田・清水靖 10名

合計 42名

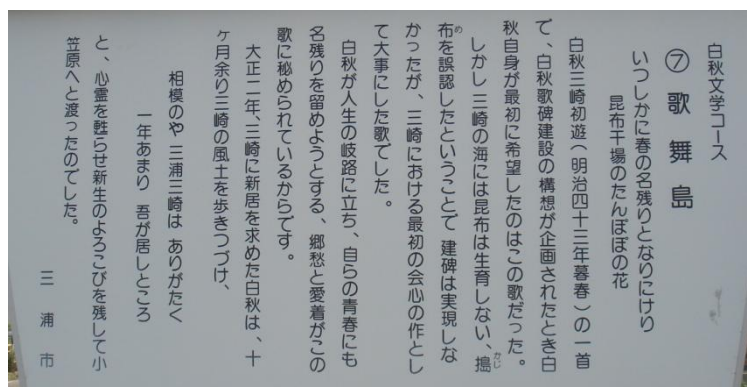
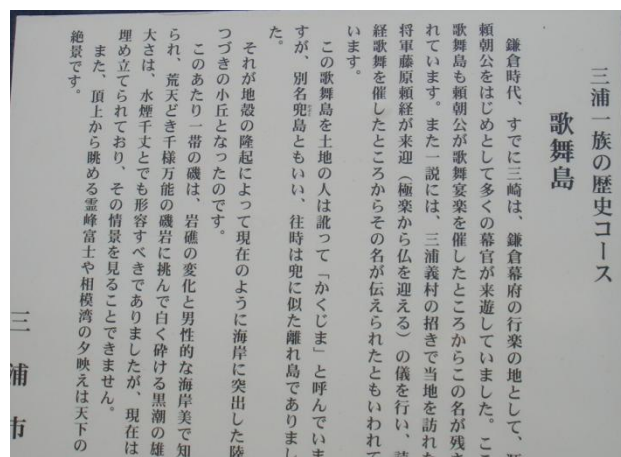
【コースマップ】 Aコース：関東ふれあいの道NO.2「油壺・入江のみち」 + Bコース「小網代の森」



【三崎港バス停】【産直センターうらり】 高橋文さんによるストレッチとセンター見物買い物（先発隊）



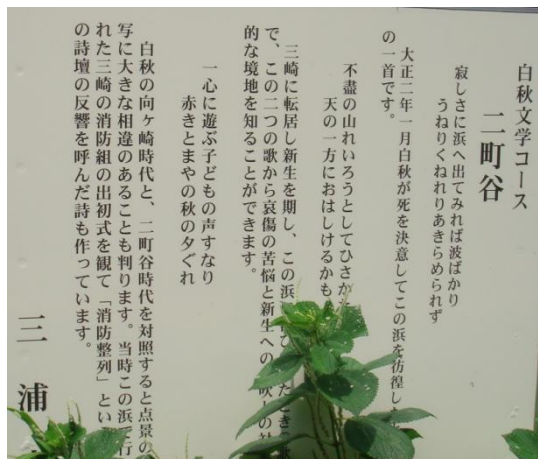
【歌舞島】 2回の地震で3m隆起し地続きになった。【白秋文学コース】 北原白秋1885～1942



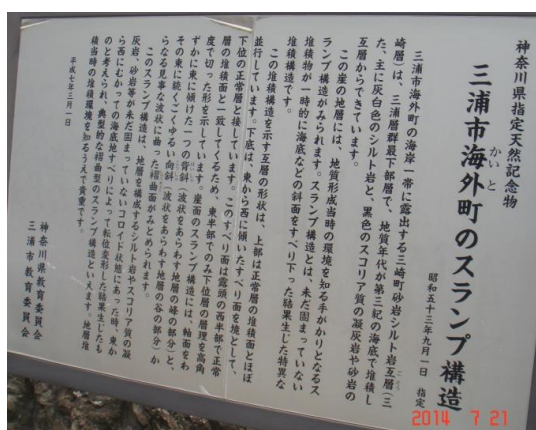
「ゆりかごのうた」「からたちの花」「城ヶ島の雨」・・・P2



文学の世界に入り海を眺めて一句・・



【<sup>かいとまち</sup>海外町の漣痕地層&スランプ構造】【スランプ構造】：灰白磐のシルト層とスコリア質砂岩の互層からなる。



まだ固まっていないコロイド状  
にあったときに地滑りで形成



←<sup>れんこん</sup>漣痕地層：海底に堆積した泥や砂が一定方向の底流で転動していた時、転動部分に生ずる渦によってこのような地層が出来るようです。

三浦半島は地層の学習に最高の場所です。海浜遊びを兼ねて孫を連れてきては如何でしょうか・・・？（左の拡大された写真はHPより引用）

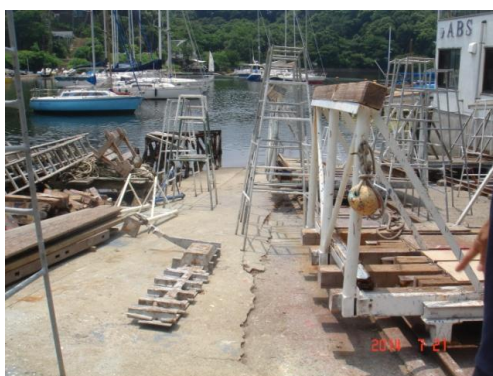
電車で来る時は小雨もばらっていたが、曇りから晴れになり、暑い夏の日にはやはり太陽だ。浜とマスト群。



【油壺公園】有翼特殊潜航艇「海龍」と特攻艇「震洋」の基地 戦国時代も昭和時代も要の要塞でした。

自然観察指導員：小林直樹さんの資料3枚の説明書付ガイド

ボートレースの遭難碑 「海龍」「震洋」の船台跡↓と格納洞窟跡↓（開発上不利になると埋められた）



特等席で休憩中の吉野会長（左）  
新会員清水靖子さん（右）  
他一般参加の人紹介

## ヨットマスト群を背景に集合写真



【油壺験潮場】 1894年に建設された国土地理院の験潮場。（写真はHPから）



【東京大学臨海実験所】 5/25（日）「道寸祭」で解放され、写真の道から空堀を見ました。（レポート参照）



【三浦荒次郎供養塔】 北条早雲との戦いに敗れ道寸は切腹、荒次郎は一人力尽きるまで戦い首を切った場所



三浦一族と新井城の歴史については5/25（日）【道寸祭】小生のレポートに記してあります。参考に見て下さい。「空堀」の写真他資料を添付してあります。NHKドラマ「黒田官兵衛」や日経夕刊連載小説「徳川家康」も今丁度戦国時代の物語です。江戸への要塞地、地理と歴史の勉強を自然の絶景を見ながら学べるところです。2度来てレポート纏めると頭に残ります。

【道寸（<sup>よしあつ</sup>義同）の供養塔】



道寸の子荒次郎は身長2, 2 m 88 人力。3, 7 mの筋金入り棒を振り回す豪傑。小林さん説明、1516年北条早雲との戦いに敗れ、荒次郎の首が小田原まで飛んで松の枝にひっ掛ったが胴体は海に落ちて漁師の網で引き上げられ「胴網海岸」の地名で残る。引き続き小田原に飛んで行った首のお話を常盤さんが説明されました。↓

うつつとも ゆめともしらず ひとねむり 浮世のひまを あけぼのの空 (総世寺住職)



樹林の日陰、油壺海岸を眺めながら、昼食会場のトイレのある油壺湾荒井浜（道寸祭会場）に向かう。



<道寸と早雲の戦いで海が血に染まり、油を流した様になり「油壺」と名付けられたようですが、今は澄みとおったきれいな海です>

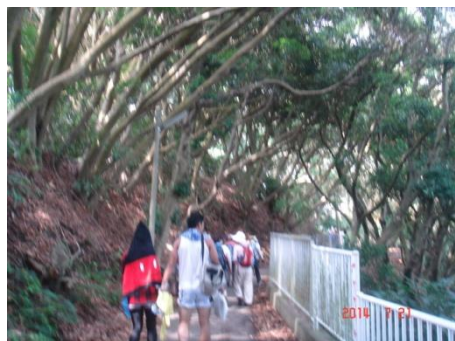
【昼食 in 油壺荒井浜】 12:50～13:40 日陰を探すもなし。わずかな浜風を受け夏休み入り、岩場で遊ぶ子供たちを見ながおにぎりを食べる。「油壺バス停」に着きAコース完了、10,000歩全員Bコースへ。



波状岩は丁度良い腰かけでした。子供ずれには最高の夏休みサービスが出来ます。トイレつきです。



油壺湾樹林歩道から道路に出て、小網代湾に向かう。シーボニアヨットハーバーから向こうに見える森が「小網代の森」です。7/19（土）から新設遊歩道が開放されました。5/25（日）「道寸祭」の時は閉鎖されており金網越しに見て通り過ぎました。その麓に白髭神社があり立ち寄り給水タイム。



14:10 今日の浜は穏やかです。

【白髭神社】安全祈願、途中小網代名物「アカテガニ」の御出迎えて、白髭神社に参拝。↓カンカン石で演奏？



【小網代の森遊歩道】2014年7月19日(土)からオープン開放  
子供の頃よく遊びに来られた吉越しによる「潮の満ち引きで、淡水と海水の混ざりで魚が甦る場所」と説明



中央に踊り場広場あり「内田夫妻にギター演奏してもらいましょう～」真新しい遊歩道を気持ちよく歩く。



集合写真（やはり後列は小さくなりますがKWCは一行縦隊が御好きで）

最後の急な階段を上り給水タイム



【小網代の森】終点到着15:00 約20,000歩

下の看板「現在地」ここから「三崎口駅」まで全員で歩く、約30分。正解でした海帰りで車渋滞。



【アフター in 魚火亭】三崎口駅から1駅「三浦海岸駅」16:00～18:40

25名の参加で、獲れたての魚料理、サザエの刺身、カマスの子刺身、アジの天ぷら等々、生ビールの美味しいことこの上なし。しかしこの魚料理にはやはり日本酒。「魚火亭に来るために参加した人は誰ですか・・・？」の声あり。時間的にずれがあり先着順にそれぞれのテーブルで注文し、楽しく反省会をやりました。



編集後記：今回は「例会」と「関東ふれあいの道」が兼ねられた夏休み入り3連休最後の日、「海の日」のウォーキングでした。天気も良く海も穏やかで良かったのですが、もう少し浜風と白い波しぶきを期待して重い一眼レフ持参しましたが残念でした。三浦海岸の変った地層と戦国時代三浦一族の歴史を覗きながら、ガイド付きのウォーキング、企画と準備、案内、地元吉越L有難うございました。Bコース「小網代の森」も出来たての遊歩道付きでゆったりコースでした。アフターも真夏の旬魚美味しく戴きました。

文中にも記載しましたが、5/25(日)道寸祭に引き続き、三浦の地理と歴史を学習し更に三浦半島絶景美の奥を覗いた、いつものボケ防止用日記帳です。誤記や失礼な記述有るかも知れませんが悪しからず、お許しの程。お互い熱中症に最善の対策準備をして、7月～8月ウォーキングを楽しみましょう！